

がん患者コミュニティサロン通信

31号

＋日本赤十字社 秋田赤十字病院 がん相談支援センター

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢 222-1

☎ 018-829-5000 (内線 2182)

日ざしのやわらかさに、待ちかねた春の訪れを感じる今日このごろ
みなさまいかがお過ごしでしょうか。

3月11日、あの東日本大震災発生から6年を迎えました。

1万5893の方が亡くなり、今も行方のわからない方も

おります。大切な人を失った悲しみを癒やせないまま

日々を送られていることでしょう。

犠牲者の方々のご冥福を祈り、被災地の日も早い復興を願い

これからも「あの日を忘れない」ことが大切ではないかと思います。

では、1月・2月のサロンの会の様子をお伝えしていきたいと思います。

～1月・2月のサロンの会より～

1月・2月とも患者さん、他11名・職員さん2～3名の

参加をいただきました。1月はお正月の過ごし方などが話題

になり、ご家族との温泉旅行や遠出など新たな年の始まりを

楽しむお話を伺うことができ、気分もほっこりでした。

2月は「がんと向き合い生きる」というテーマの放映を視聴した方

からのお話があり、医師と患者の間に存在するズレなどについて話

合うことが出来ました。

1・2月は今年度の「サロンの会・取り組みについて」の話し合いが主と

なりました。「学習が勿論大事なことだが、参加されるみなさんが楽しんで

取り組めることを企画したらどうか」との意見を元にミニレクチャーとして

戸外研修・音楽鑑賞・粘土細工・折り紙・絵手紙・手作りカード・タオル帽子

づくりなどが出されました。時間的な配分や参加者全員が取り組める内容に

ついて検討し計画していきたいと思います。

さっそく、提案された内容からレクリエーションとして『温泉入浴研修

を楽しもう』が決定しました。Kさんが企画・スケジュール等を担当

してくださり、実施の運びとなりました。

桜咲く季節に温泉に入り、美味しいランチとカラオケや歓談。親睦を深める

ことで、絆がさらに強くなること間違いなしです。院外でのレクリエー

ション企画は二度目となりますが、新たな発見や喜び、何よりも

前向きになり、がんに負けない力・勇気・元気を与えてくれる

と思います。とても待ち遠しいですね！

おおいに楽しみましょう！

2月のミニレクチャー

「おひなさまをつくろう」

今回は、がん相談支援センター：畠山看護師さん、アデランス：安田さん
そしてサロンの会からKさんが担当してくださり、準備～作成にいたる
まで、ていねいなご指導のもとに、参加者全員が夢中かつ真剣におひなさま
づくりに挑戦しました。その人らしさが滲み出る可愛いおひなさまが次々と
完成！みなさん、大喜びでした。男性陣は器用で早々と完成、折り紙・千代紙柄の
配色にも気配りしながら、センスのあるおひなさまでした。

＜おひなさまのつくり方＞

使用するもの⇒折り紙・千代紙 たまごの形をしたプラスチック容器 2ヶ ハサミ のり
ボンド マスキングテープ マジックなど

- ① 好きな柄の紙を2種類使用⇒お内裏様とお雛様用 ②紙で円形の台座をつくり柄の
紙を貼る ③着物の襟と着物をつくる⇒柄の紙を折って使用 ④台座とたまごを
テープで固定する ⑤たまごのプラスチックにマジックで髪を書く ⑥着物を着せる
左前にして、のり・ボンドで前を張る ⑦たまごに顔を書く ⑧冠・扇などを貼り
付ける *紙（折り紙・千代紙）は1枚の紙を三角形に折って切った紙、2枚を
使います。



＜ お知らせコーナー ＞

2017年3月5日秋田市アルヴェにて、秋田県がん患者団体連絡協議会・きぼうの虹主催の
「ピアサポート研修会」が開催され、サロンの会から5名の方が参加しました。

研修内容について、1. 秋田県健康福祉部健康推進課がん対策室：篠木氏より「平成29年度の
秋田県がん対策について」 2. 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 臨床看護学講座准教
授：煙山先生による「がん患者さんに寄り添う 看護の立場から」のご講演、3. 「がん患者さん
の悩みを和らげるには その体験を語る」というテーマで、お二人のがん患者さんがお話されまし
た。そして、「患者さんの気持ちを引き出すには」のトークセッションでは、患者と医療者側のコ
ミュニケーションのあり方、寄り添うことについて、県内の患者会が支え合うシステムづくりや連
携のあり方、情報発信など今後の課題についても活発な意見交換が出来ました。また、各がん患者
サロンの紹介と取り組み状況についてもお話を伺うことができ大変勉強になりました。